

# おおま

岬の光

No.

104

令和2年2月1日発行

議会だより



令和2年元旦 奥戸春日神社

## 主な内容 12月定例議会

○令和元年 第4回定例会

P 2

○1議員が一般質問

P 3

○全員協議会

P 4

○報告（フェリー特別委員会行政視察）

P 5

○報告（電源社長新年挨拶／議員職員合同研修会）・編集後記

P 6

# 第4回 12月定例会

令和元年12月6日開会し、12月10日閉会しました。  
本会議に提案された議案16件は、すべて原案のとおり  
可決しました。

## 令和元年度 補正予算

### 一般会計

歳入歳出それぞれ2  
66万1千円を減額し、  
予算総額を46億530  
7万3千円とした。

### 歳入の主なるもの

- 国庫負担金で保育所  
運営費負担金340  
万3千円追加。
- 国庫補助金で防災安  
全交付金315万7  
千円減額。
- 県支出金、委託金で  
選挙費委託金241  
万2千円減額。
- 特別会計繰入金で介  
護保険特別会計繰入  
金200万円減額。
- 介護保険特別会計繰  
入金531万6千円  
追加。
- 老人福祉施設措置費  
176万円追加。

○うみの子保育園指定  
管理料303万8千  
円追加。

○繁殖センター飼料費  
450万円追加。  
○海峡保養センター非  
常用発電機交換工事  
費143万円減額。

○除雪経費重機借上料  
600万円追加。

○橋梁維持補修工事費  
504万9千円減額。

○港湾改修事業負担金  
200万円減額。

○港湾浚渫事業負担金  
320万円追加。

○町営住宅大間崎地  
建替工事費600万  
円減額。

○大間町民体育館等  
照明器具PCB調査  
委託料122万9千  
円計上。

○小学校費臨時講師賃  
金511万8千円減  
額。

○中学校費臨時講師賃  
金349万3千円減  
額。

○予備費109万円追  
加。

### 国民健康保険 特別会計

歳出の組替補正で、  
総務費及び保健事業費  
合わせて53万4千円を  
追加、国民健康保険事  
業費給付金8万1千円  
を減額し、予備費45万  
3千円減額。

### 介護保険特別会計

歳入歳出それぞれ4  
22万2千円を追加  
し、予算総額を6億1  
312万8千円とした。  
○歳入では、現年度分  
特別・普通徴収保険  
料149万6千8百円  
減額。

○現年度分介護給付費  
負担金、調整交付金  
等合わせて1077  
万1千円追加。

○介護給付費交付金、  
地域支援事業交付金  
合わせて1076万  
4千円追加。

○介護給付費県負担金  
774万3千円追加。  
○一般会計繰入金、基  
金繰入金合わせて2  
821万2千円追加。

○歳出では、事業精査  
により保険給付費等  
合わせて4252万  
5千円追加。

○一般会計繰出金20  
0万円減額。

○予備費200万円追  
加。

### 下水道事業特別会計

歳入歳出それぞれ9  
万9千円を追加し、予  
算総額を2億2701  
万円とした。

○歳入では、一般会計  
繰入金9万9千円追  
加。

○歳出では、人件費9  
万9千円追加。

○管渠工事積算業務委  
託料等133万2千  
円減額。

○管渠布設工事費13  
3万2千円追加。

### 水道事業会計

職員人件費に伴う補  
正であり、収益的収入  
及び支出の営業費用3  
1万7千円、特別損失  
5千円をそれぞれ追加  
し、収益的支出の総額  
を、1億4827万4  
千円とした。

### 【議決条例等】

- 大間町会計年度任用  
職員の給与及び費用  
弁償に関する条例
- 大間町法定外公共物  
管理条例
- 議会の議員の議員報  
酬及び費用弁償等に  
関する条例の一部改  
正
- 大間町特別職職員の  
給与に関する条例の  
一部改正
- 大間町職員の給与に  
関する条例の一部改  
正
- 大間町職員の勤務時  
間、休暇等に関する  
条例の一部改正
- 職員の服務の宣誓に  
関する条例等の一部  
改正
- 大間町繁殖育成セン  
ター設置条例の一部  
改正
- 大間町水道事業条例  
の一部改正
- 定住自立圏形成協定  
の一部を変更する協  
定の締結について
- 青森県市町村職員退  
職手当組合を組織す  
る地方公共団体の数  
の減少及び青森県市  
町村職員退職手当組  
合規約の変更につい  
て

# 一般質問



野崎 信行 議員  
質問時間 60分

は単独課として独立させるべきである。

**町長答弁**

一課に特化することなく、慎重に検討してまいります。

**問五**

「奥戸中学校」有効利用について。

**町長答弁**

現在、関係機関で検討に入っており、幅広い視点で検討を進めてまいります。

**問六**

「農業振興地域解除」について。

**町長答弁**

乱開発を防止する法律の趣旨を十分生かしながら対応してまいります。

**問七**

町は奥戸加工所の保健所認可を取得すべきである。

**町長答弁**

設置目的から必要ないと伺っています。

**問八**

「防犯灯の整備」について。

**町長答弁**

関係機関との連携のもと、点検整備を継続してまいります。

**問九**

下北半島連合体でフェリーの運営をすべきである。

**町長答弁**

検討を重ねてまいります。

**問十**

大間町の企業誘致について、大間町では日本一つるあらがが獲れ

日本一の風が吹く。つるあらの加工所の企業誘致、風力発電の企業誘致を積極的に行うべきである。

**町長答弁**

ご質問の企業誘致については、現在具体的に事業所の情報がありません。

**問十一**

「羊」の飼育について、現在大間町では黒牛の飼育をしている。

質のいい牛で評価も高いが頭数が少ない。羊の塩分を含んだ質のよい餌があり管理が安易

な羊の飼育をすべきである。

**町長答弁**

現在は優良な肉用牛の生産地として確立することが重要と考えます。

**問十二**

大間町繁殖育成センターについて、指定管理制度を導入し、大間町内のみならず東京・

青森の業者にも広く募集すべきである。

**町長答弁**

地元住民でできるものは地元でやっていたことを基本として考えております。

**問十三**

「道の駅」誘致について。

**町長答弁**

商工会等関係団体の意見を聞きながら議会と協議してまいります。

**問十四**

「奥戸バイパス計画」の図面作成について。

**町長答弁**

県と折衝のうえ、具体的に進展させていければと考えています。

**問十五**

「大間バイパス」起点について。

**町長答弁**

県に要望しているところであります。

**問十六**

「四端サミット」について「ドローン」を活用し、動画を流し合ってはどうか。

**町長答弁**

ドローンの活用については、今後の課題とさせていただきます。と思います。

**問十七**

「前立腺がん検査」について、四月から有料になると言われているが。

**町長答弁**

国において効果と副作用について疑問を示し、がん検診の項目に入っていない状況にあることから、町としても検診から除外したものであります。

20の質問の中から17を掲載いたしました。

**問一**

大間初地域おこし協力隊員に中国出身の弘前大学生が着任した。

これを機に中国と交流を深める「姉妹都市締結」を考えるべきである。

**町長答弁**

現在その考えはございません。

**問二**

大間町に「税関事務所」を誘致すべきである。

**町長答弁**

これも不可能と考えます。

**問三**

30キロ未満のマグロは漁獲できず放流している。発信器を付けマグロの生態の研究材料にし、町漁師のために活用すべきである。

**町長答弁**

放流については、第一義に漁業者の意思が尊重されるべきと考えます。また、生態研究については、国内的にも進められていると認識しております。

**問四**

「役場企画経営課」は担当業務が多数あり多忙である。原発関連

# 全員協議会

〔令和元年11月20日〕

## 案件

一、大間町繁殖育成センター設置条例の一部を改正する条例(案)について

・これまでの繁殖育成センターの管理運営は委託方式で行っていたが、今後は指定管理者制度に移行し、経費節減と適切な管理運営を図るため、条例改正するものである。

### ①目的

大間牛の地産地消及び市場への安定供給を目的に、繁殖親牛並びに子牛の出荷管理及び肥育牛(陸マガロ)の計画的出荷を行い、経営の黒字化と畜産振興基盤の確立を目指す。併

せて、ふれあい牧場や児童生徒の職場体験及び地域畜産農家への指導、若手農家の起業支援など、畜産振興の中心的な役割を果たし、大間町畜産業全体の活性化を図ることを目的とする。

### ②指定管理の効果

指定管理制度を活用することにより、大部分の管理権限を有することから、指定管理者は自主性・独自性を活かし、企業努力により経営の黒字化を見込むことができる。

### ③負担軽減

現状では、施設管理運営上の全てにおいて町で負担しているが、指定管理することにより、町の負

担となるものは、施設設備の計画的大規模改修及び災害等による突発的な損傷回復となる。

### ④畜産事務の軽減

町の畜産関係事務は一人の職員が他の業務と兼務して行っていることから、他業務との調整が難しい状況である。

例えば、物品購入等においても、発注は受託者が行い、支払業務は町で行うなど、事務処理が煩雑となっている。しかし、指定管理を行うことにより、大部分の事務が指定管理者の権限により実施することができ、事業の迅速化が図られ、担当職員の事務量が軽減されて、他の業務が強化できる。

※本案は12月定例会で可決された。  
実施予定は、本案について細部に亘り検討し、約一年後からとした。

〔令和元年12月2日〕

## 案件

一、大間町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例(案)について

・本条例は、地方自治法及び地方公務員法に基づき、臨時職員並びにパートタイム職員等に期末手当等の支給ができるよう条例を制定するものである。

二、大間町法定外公共物管理条例(案)について

・本条例は、法定外公共物の管理に関して必要な事項を定め、適正な利用を図るため制定するものである。

(法定外公共物とは、町が所有する認定外道路及び水路をいう。)

※以上の2件は12月定例会で可決された。

三、大間町舗装長寿命化修繕計画について



対象路線一覧表

No	路線番号	路線名	等級	幅員(m)	調査延長(m)
1	1	大間下手1号線	1	8.8	4,290
2	2	大間大間平2号線	1	5.8	714
3	3	大間大間平高校線	1	8.2	375
4	41	大間寺道線	1	9.1	257
5	42	大間根田内1号線	1	10.7	1,069
6	43	大間内山線	1	5.5	3,682
7	44	大間奥戸上道線	1	6.6	512
8	69	奥戸二ツ石線	1	5.5	544
9	70	奥戸館ノ上撰	1	5.4	416
10	71	奥戸館ノ上1号線	1	6.8	355
11	72	奥戸館ノ上2号線	1	5.3	88
12	73	奥戸材木線	1	4.8	471
13	4	大間下手2号線	2	5.8	1,198
14	5	大間大間平1号線	2	8.4	303
15	45	大間冷水蛇浦線	2	7.7	2,588
16	74	大間奥戸線	2	10.0	5,527
合 計					22,389

道路区分ごとの施設延長等

道路種別	路線数	管理延長(m)	舗装種別延長(m)			舗装率(%)
			Co舗装	As舗装	未舗装	
1級町道	12	16,876.1	0.0	11,658.8	5,217.3	69
2級町道	4	9,497.7	0.0	9,497.7	0.0	100
その他町道	106	36,320.0	1,047.0	18,527.6	16,745.4	51
計	122	62,693.8	1,047.0	39,684.1	21,962.7	63

※As舗装に簡易舗装を含む

# 報告

## 隠岐航路フェリー行政視察

### 大間・函館フェリー航路対策特別委員会

令和元年11月8日 島根県 隠岐の島町

#### 視察目的

指定管理期間11年のうち6年が過ぎ、指定管理期間が残り5年となった大間・函館フェリー航路が、将来的に恒久的な運航になるよう、隠岐汽船・フェリーおきを視察し、隠岐汽船を管理する隠岐広域連合に質疑・情報交換、現状を共有し、今後の航路存続の対策への参考を目的に視察させて頂きました。



「フェリーおき」2,366トン 旅客定員822名  
車両積載台数74台

大間・函館フェリー航路対策特別委員会は、島根県隠岐の島町へ行政視察を行いました。

議会から石戸議長、正根大間・函館フェリー航路対策特別委員会委員長ら8名、大間町から菊池副町長ら3名が参加しました。

隠岐広域連合との情報交換会と隠岐汽船から航路の現状説明と「フェリーおき」のターミナルと船内を視察しました。情報交換会では、隠岐広域連合から平田議



隠岐広域連合との情報交換会

長ら7名と離島航路公設民営の現状と、大間・函館航路の現状の意見交換を行い、航路の形に違いがあります。ともに航路は指定管理者制度という共通点もあり、互いの指定管理者制度の活用で起こるメリットとデメリットや、現状の情報交換等を行い、質疑応答においても忌憚のない意見交換がなされ「命の航路」大間・函館航路が恒久的に運航するため、この視察を参考に、様々な方法を模索し熟慮を重ね、特別委員会や議会で議員一丸になり、より一層の議論をしていきます。

(記) 堺

#### 隠岐広域連合とは？

島根県と隠岐島4町村(旧7町村)  
【隠岐の島町(旧西郷町・旧布施村・旧五箇村・旧都万村)、海士町、西ノ島町、知夫村】を構成団体として設立。  
介護、病院事業、救急医療対策事業・広域消防事業・障がい者支援施設事業・隠岐航路フェリー「おき」の設置、管理運営超高速船の設置、管理運営を行っている。



隠岐汽船担当者から説明を受ける



フェリーターミナル内を視察



「フェリーおき」の船内を視察



# 報告



令和2年1月10日、電源開発(株)渡部社長が新年の挨拶のため、大間町を表敬訪問されました。



## 報告

# 下北郡町村議会議員及び事務局職員合同研修会

令和2年1月20日  
むつ市グリーンホテル

### 1 趣旨

下北郡町村議会の議員及び事務局職員が一堂に会し、研修を行うとともに、お互いに交流し合い、相互の理解と連携を強め、もって地域の議会活動の向上に資する。

### 2 主催

下北郡町村議会議長会

### 3 参加人員

下北郡町村議会議員及び事務局職員

### 4 講演

演題 「青森県型地域共生社会」実現に向けた取組について  
講師 青森県地域活力振興課 課長代理(副参事) 小野 厚志 氏

### 5 特別参加

むつ市議会議員及び事務局職員

「2025年問題」と想定される具体的な影響

### 2025年問題とは

「団塊世代」がすべて75歳以上の後期高齢者となり、我が国がこれまで以上に体験したことのない超高齢化時代を迎えることで生じる、社会保障をはじめとした様々な課題。

### 今後想定される課題

「保健・医療・福祉ニーズの増大」 「社会経済活動の停滞や県民生活の利便性低下」 「地域コミュニティ活動の停滞」

青森県が目指す姿 青森県型地域共生社会

### 【目指す姿】

地域で生まれ、地域で育ち、地域を助け、地域で安心して老後を迎えることができる社会

### 【取組】

青森県の保健・医療・福祉包括ケアシステムに「住まい」「生活支援」を取り込むとともに、「交通」「情報通信」「セキュリティ」の地域機能を加え、さらに「地域づくり」の視点で踏まえた深化を図る。

## 編集後記

皆さん、いかががお過ごしでしょうか。

温暖化のせいかわずかな災害が起きています。台風による水害、大間町は災害のない町だといわれていますが、今は何が起るか分かりません。この時期に雨かと思えば雪、雪かと思えば雨と、目まぐるしく変わる今日この頃です。皆さんも災害に負けない心構えが大切です。

寒暖差が激しく、風邪・インフルエンザが流行しています。予防接種などを済ませ風邪対策を十分にして下さい。令和2年鼠年が良い年であります事を心からお祈り申し上げます。(記)竹内

### 議会広報編集委員

委員長

吉田 安男

副委員長

佐々木 信彦

委員

堀 祐介

野内 信介

竹内 勝行

岩泉 盛利